

農業が「真駒内」を変える！

現在の真駒内は、郊外に位置する住宅地として人口が減少傾向にある。また、古くに開発された団地も存在するため、高齢化率も高い。さらに、2040年には真駒内の位置する南区の人口は30%減少、高齢化率は50%以上になると推定されている。これは、札幌市の平均をどちらも超えたものとなっている。

そこで、私は団地や区域ごとに農業をし、販売することで上記の課題は克服されると考える。その主な理由とアピールポイントとして、

- ① 真駒内は計画的につくられた「まち」 → 緑が多く、農業をする場所を確保
- ② 人類の多くは農耕を営んできた歴史 → 健康や生活に関して負荷が少ない
- ③ 業を持たない高齢者（特に単身者） → 充実した時間を提供
(高齢化に抗うのではなく、高い高齢化率を上手く活用)
- ④ 収穫物の販売場所 → 駅前に位置する旧真駒内緑小学校 → 駅前が賑わう
- ⑤ 旧真駒内緑小学校のグラウンド → 大学生を含む施設利用者も農業を行う
→ 世代間を跨いだ交流の実現 (小学校の農業体験も実施)
- ⑥ 販売の利益 → 農業工具や該当する団地や区域の景観の改善に利用
→ より良い住環境の実現
- ⑦ 特産化と観光地に近い立地条件 → 観光ルートの一環
- ⑧ 観光化 → 真駒内に興味を持った人が移住 → 新たな人口の流入が期待。
(児童数の増加)

